

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 2 区分
【発行日】平成 27 年 4 月 9 日 (2015.4.9)

【公開番号】特開 2013-175625 (P2013-175625A)
【公開日】平成 25 年 9 月 5 日 (2013.9.5)
【年通号数】公開・登録公報 2013-048
【出願番号】特願 2012-39679 (P2012-39679)
【国際特許分類】

H 0 5 K 9/00 (2006.01)

【F I】

H 0 5 K 9/00 H

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 2 月 20 日 (2015.2.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

一対の第 1 のコイルと、

前記一対の第 1 のコイルに挟まれた空間に配置され、磁性体で構成された筒状のシールド部と、
を有し、

前記一対の第 1 のコイルは、前記一対の第 1 のコイルの少なくとも一方の開口面が前記シールド部の開口部と対向する様に配置されており、励磁状態において、前記シールド部内の軸方向の磁場勾配のレベルを低減させるとともに、前記シールド部内の径方向の磁場勾配のレベルをも低減させることを特徴とする磁気シールド装置。

【請求項 2】

前記一対の第 1 のコイルが励磁状態において前記シールド部を消磁する消磁部をさらに有することを特徴とする請求項 1 に記載の磁気シールド装置。

【請求項 3】

前記一対の第 1 のコイルの少なくとも一方は、前記シールド部の一の開口端縁に沿って形成されることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の磁気シールド装置。

【請求項 4】

前記シールド部に配置される複数の磁気測定装置をさらに有することを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか一項に記載の磁気シールド装置。

【請求項 5】

前記シールド部は、その一方の開口部が蓋により覆われていることを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか一項に記載の磁気シールド装置。

【請求項 6】

前記シールド部の外側面に対して平行な開口面を有する第 2 のコイルであって、前記第 2 のコイルの励磁状態において、前記シールド部内の径方向の磁場勾配のレベルを低減させる第 2 のコイルをさらに有することを特徴とする請求項 5 に記載の磁気シールド装置。